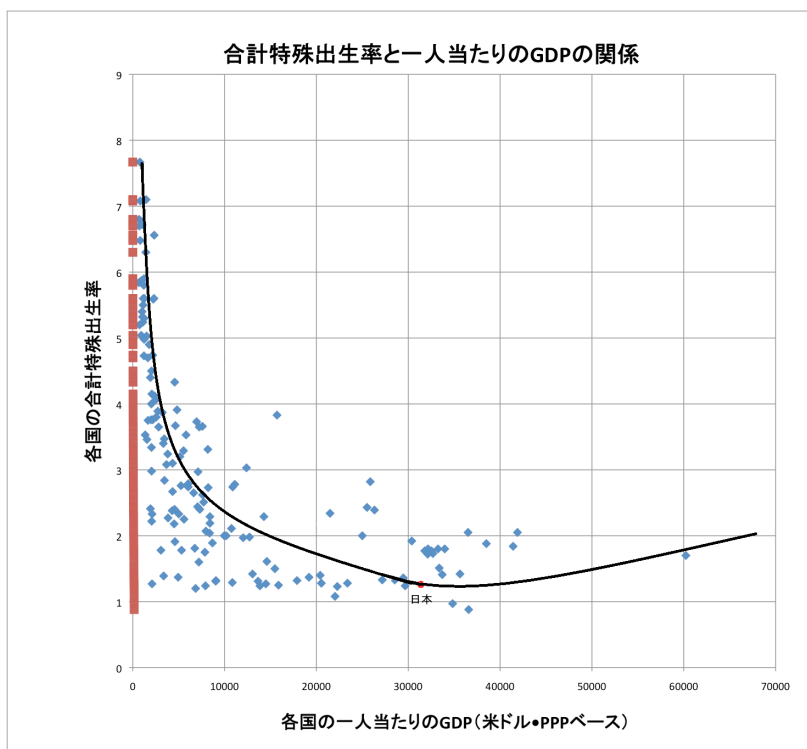


## 原因①GDP と出生率の関係



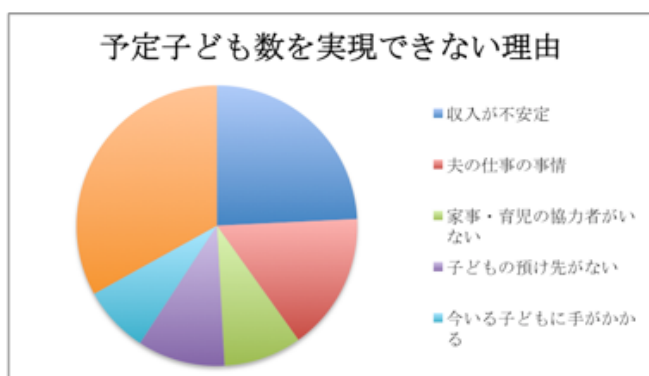
一人当たりの GDP（国内総生産）が高くなるほど出生率が下がっている



下がりきった後は上がっている？

☞少子化に対する危機感が高まって何か対策がとられるから

## 原因②子どもを産まない／産めない理由



収入が不安定 : 30.5%

夫の仕事の事情 : 20%

家事・育児の協力者がいない : 11.3%

子供の預け先がない : 12.7%

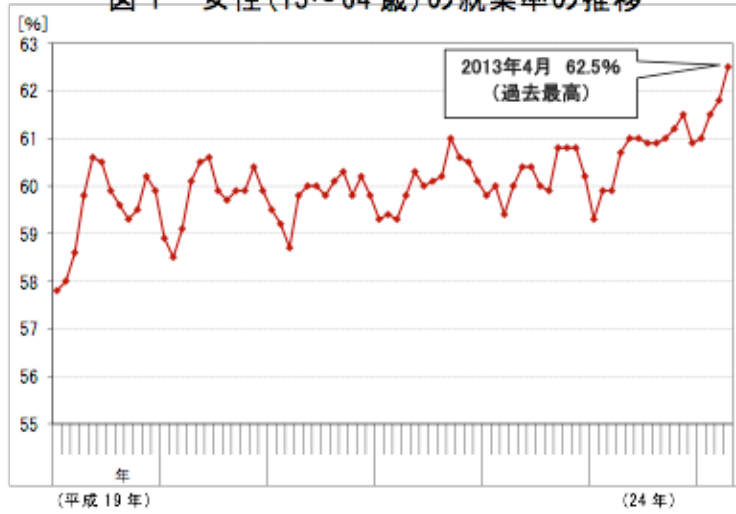
今いる子供に手がかかる : 9.7%

年齢や健康上の理由で子どもができない : 41.6% ⇨ 晩婚化と通ずる

不詳 : 7.8%

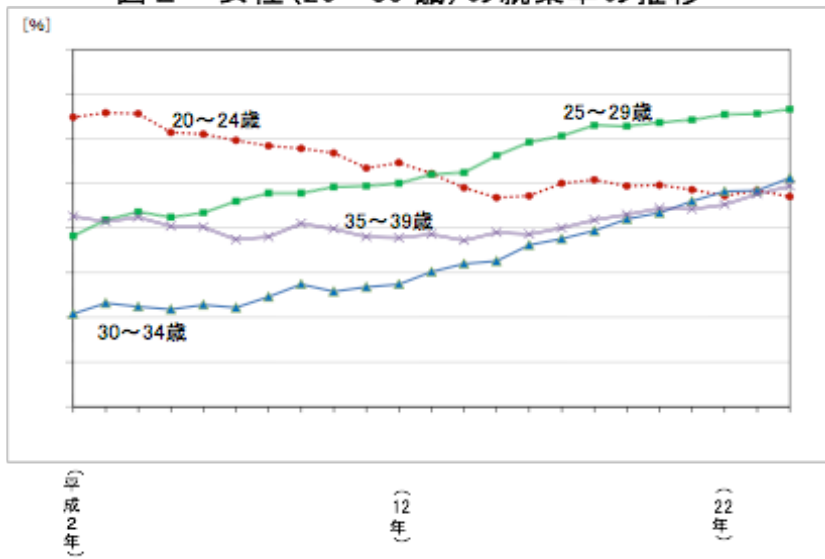
原因③女性の社会進出

図1 女性(15~64歳)の就業率の推移



昔と違って女性も教育を受けられるようになったので、外にでて働く女性が増えている。

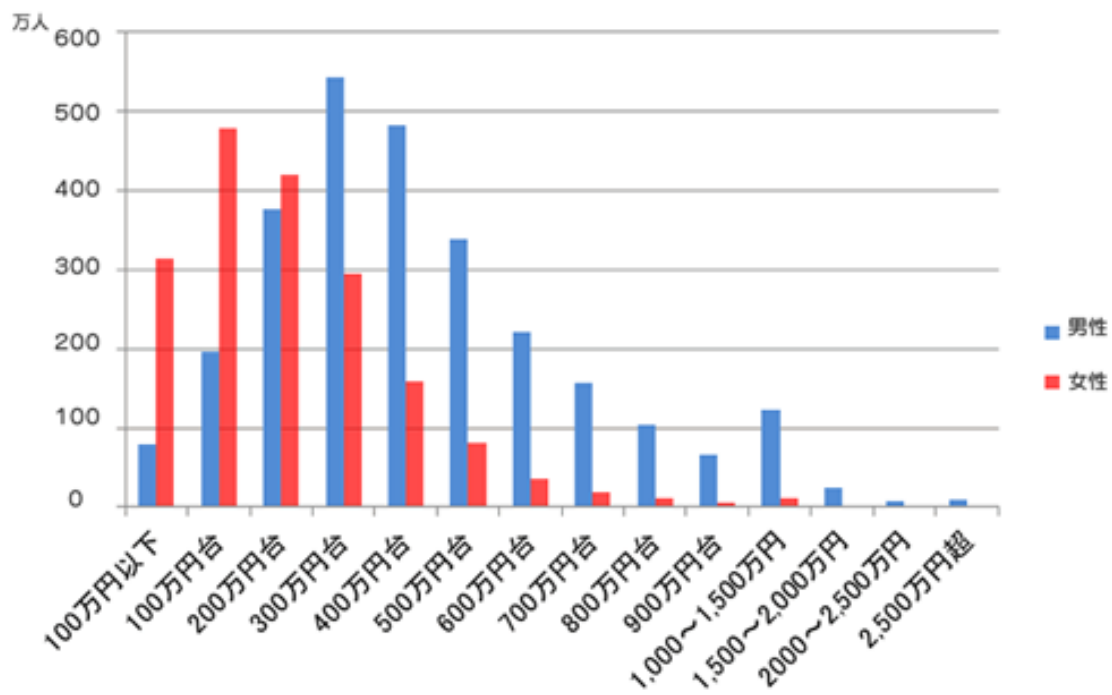
図2 女性(20~39歳)の就業率の推移



20代後半から 30代の女性の就業率が上がっている

## 原因④結婚

普通のサラリーマンの年収別男女別のグラフ

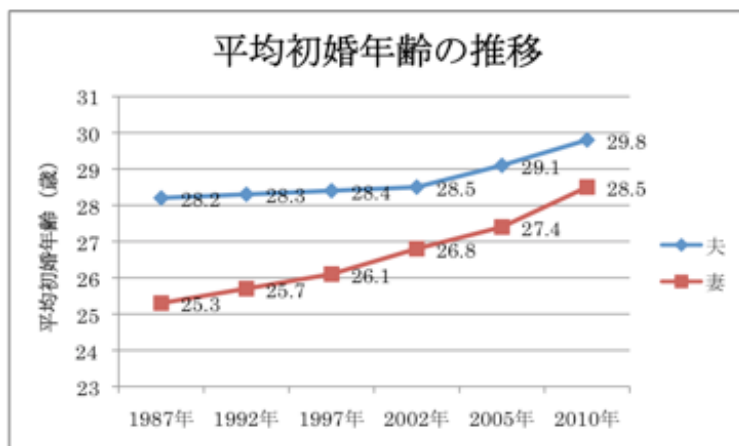


女性の年収のピークが100万

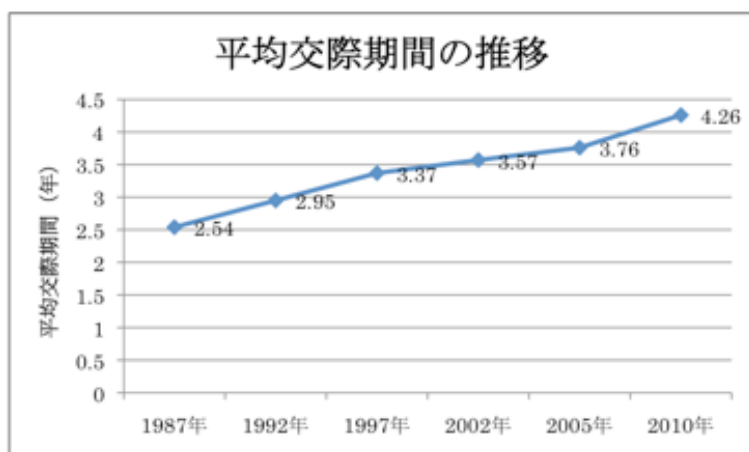
▶ちなみに私立学校の初年度にかかる費用は高い学校だと150万、安い学校でも60万

☞ 女性だけの収入では難しいと言うのが現状

## 原因⑤晩婚化



⇒年々初婚年齢が高くなっている



⇒結婚相手と出会うときの年齢が上がっている

交際期間が長くなっている

## 原因⑥非婚化

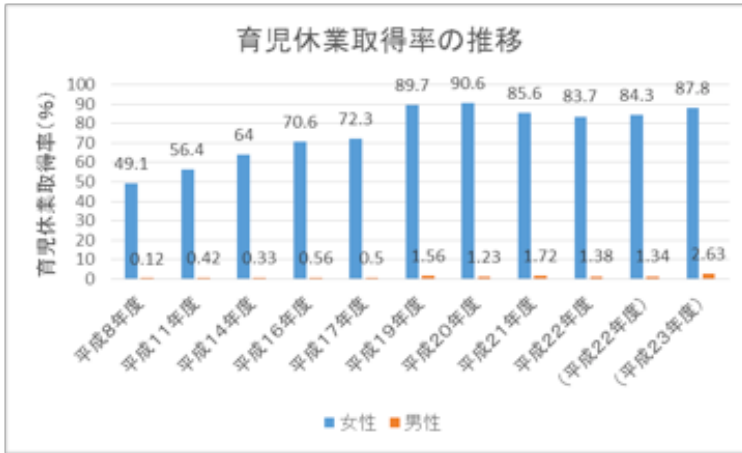


18 歳から 24 歳の男女：『まだ若すぎる』『必要性を感じない』という理由が多い

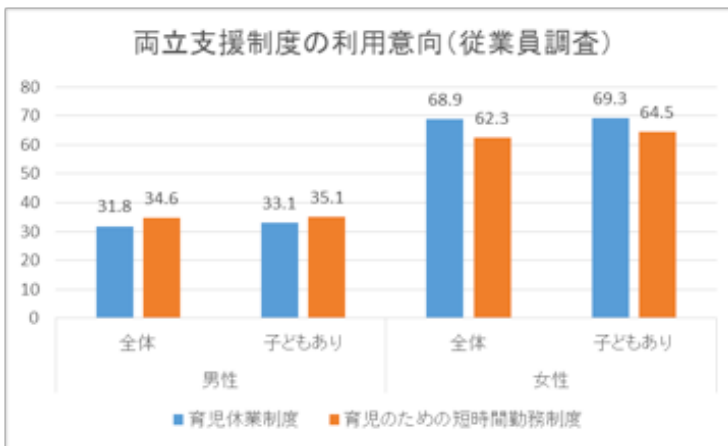
年齢が上がると、『適切な相手にめぐりあわない』という理由が多くなる

☞結婚したくてもできない人が増えている

原因⑦男性の育児休暇とパタハラ

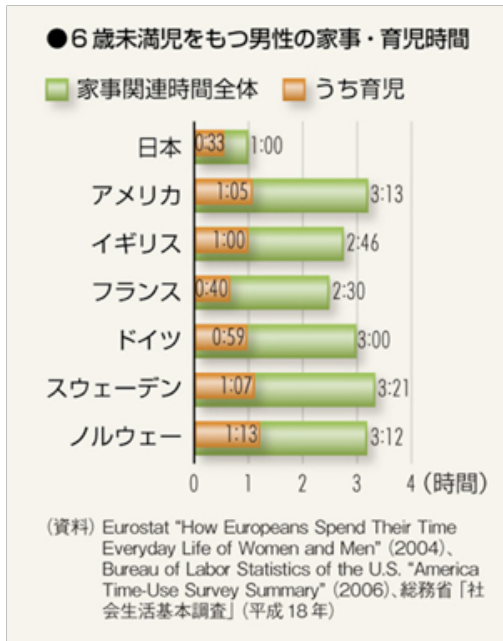


男性はほとんど育児休業を取ってない

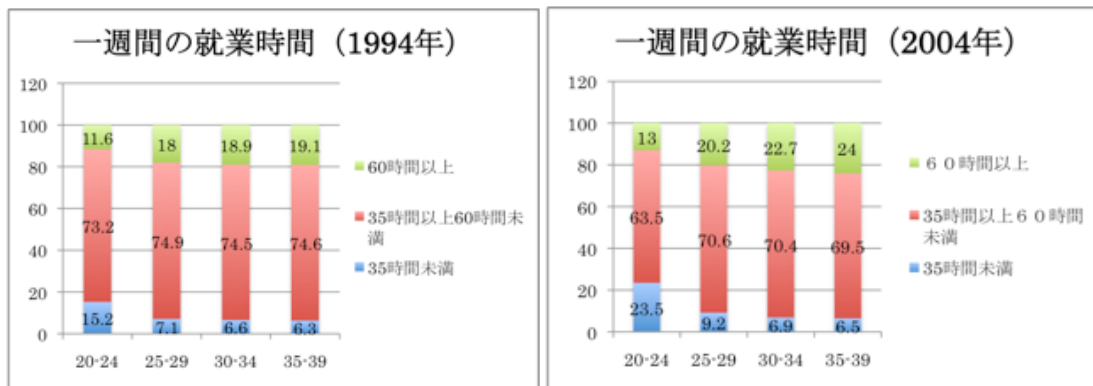


育児に時間を割きたいと思っても実際にはできない人がある

原因⑧男性の育児参加と就業時間の関係



日本人は他国に比べ男性の家事・育児時間が短い

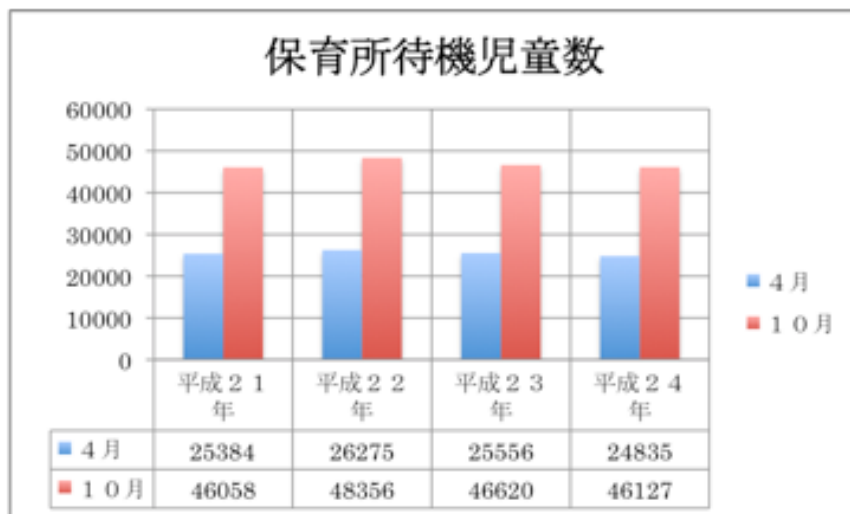


働いている時間が長い

⇒育児に手が回らない



原因⑨保育所の不足



保育所に入所待ちの待機児童が増えていたが、

対策のおかげで徐々に減りつつある。